『輝け雪』のまち　ぬまた町

みんなの議会

2019年8月
第78号

お菓子に向かって「よーい ドン」

新しい議会構成 …… 2

改選後に４名の新人議員を加え、正副議長をはじめ、常任委員会も新しい構成となる中で、新しい横山町政の新規事業予算が固まりました。

新町長に問う …… 6

鵜野議員が産業の創出・振興について質問したほか、８名の議員がそれぞれの課題で一般質問を行いました。

どうなる今後の日本 …… 11

全道の町村議会議員が一堂に会した研修会で、今の政治情勢や今後の日本の進む方向について研鑽を深めた内容を紹介します。

第4回 臨時会

議長に小峯氏を選任

副議長に鵜野氏・監査委員に高田氏

総務民教建設常任委員会

委員長	大沼 恒雄
副委員長	畑地 誉
委員	高田 勲
委員	長野 時敏
委員	鵜野 範之

この委員会は総務財政課、住民生活課、教育委員会、建設課並びに水道事業の所管に関する事務の調査及び、議案、請願陳情等の審査を行います。

今回の所管事務調査は『児童生徒の通学路の安全確保』としています。

産業福祉常任委員会

委員長	上野 敏夫
副委員長	伊藤 淳
委員	久保 元宏
委員	篠原 暁
委員	鵜野 範之

この委員会は産業創出課、農業推進課並びに保健福祉課の所管に関する事務の調査及び、議案、請願陳情等の審査を行います。

今回の所管事務調査は『観光による交流人口の創出』としています。

議会運営委員会

委員長	久保 元宏
副委員長	畑地 誉
委員	大沼 恒雄
委員	上野 敏夫
委員	鵜野 範之

この委員会は議会を効率的に且つスムーズに運営するために設置されています。議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を持っています。

定例会や臨時会の日程や運営方法を決め、請願や陳情の付託委員会を決定します。

議会事務局

事務局長	浅野 信行
主査	沼本 次登

今期の議員データ

年齢構成

- 最高年齢…66歳
- 最低年齢…45歳
- 平均年齢…58.9歳
- 60代… 5名
- 50代… 4名
- 40代… 1名

職業構成

- 農業関係… 5名
- 商工関係… 3名
- 無　　職… 2名

表紙の写真

7月7日町民体育祭での幼童競争より

よろしくお願いします

4月21日に執行された統一地方選挙後の最初となる第4回臨時会が5月8日に召集されました。

新しい議長に小峯聡氏、副議長には鵜野範之氏を選任しました。また、二つの常任委員会の所属議員が決まったほか、一部事務組合議会議員についても以下の通りとなりました。

議長就任挨拶

沼田町議会議長
小　峯　　聡

令和元年５月の臨時議会において議長に就任いたしました小峯聡です。大変、身の引き締まる思いとともに、責任の重さを痛感しているところです。議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

町民の皆さまにとって身近な存在の議会となるよう、意見を広く聞きながら、より住みよい沼田町づくりができる議会へと進化する必要があると考えています。そのために本年度より議会改革に取り組んでいこうと議会改革特別委員会を立ち上げ、今の議会にどのようなことを取り入れていく事が必要かを検討していきたいと考えています。併せて議会の取り組みを広く発信しながら、開かれた、活力ある議会の実現を目指していきたいと思います。

結びに、町民の皆さま方の議会へのご理解とご協力をお願い申し上げまして、就任の挨拶といたします。

一部事務組合議会議員など

沼田町監査委員	高田　勲
北空知広域水道企業団議員	小峯　聡
	鵜野　範之
深川地区消防組合議員	高田　勲
北空知圏学校給食組合議員	長野　時敏
北空知衛生センター組合議員	伊藤　淳
北空知衛生施設組合議員	篠原　暁
中・北空知廃棄物処理広域連合議員	畑地　誉
沼田開発公社取締役	鵜野　範之

沼田町議会議員会

会長	久保　元宏
副会長	篠原　暁
理事	長野　時敏
理事	畑地　誉
理事	伊藤　淳

林業・森林活性化議員連盟

会長	上野　敏夫
副会長	伊藤　淳
理事	大沼　恒雄
理事	長野　時敏
理事	篠原　暁
幹事	高田　勲
事務局長	畑地　誉

議会広報特別委員会

委員長	長野　時敏	委員	上野　敏夫
副委員長	篠原　暁	委員	畑地　誉
		委員	伊藤　淳

議会改革特別委員会を設置しました

沼田町議会が抱えている課題を解決するための糸口を探ることを目的に、議会改革特別委員会が第２回定例会において設置されました。

議会のＩＴ化や、魅力ある運営のための方策を探ります。

委員長には鵜野範之氏、副委員長に伊藤淳氏が選任されました。

広報編集会議

令和元年 第2回 定例会

6月20日～21日

町長の執行方針

令和元年度（平成31年度）春の地方統一選挙後、初めての定例会が6月20日、21日の両日開催されました。

横山新町長の町政執行方針、吉田教育長の教育行政報告の後、9氏の一般質問が行われました。

今年度は、選挙の実施年であることから、骨格予算で町政を執行していましたが、新町長が決まり、政策予算を組み入れ、当初予算に2億8984万円を加えて53億6132万2千円とする補正予算を承認しました。

上程された主な議案

◎平成30年度一般会計予算繰越明許費に係る報告

繰越額2479万6千円を令和元年度へ繰り越す。主な事業名

「沼田厚生クリニック医師住宅整備」「消防団救助能力資機材緊急整備事業」「農業施設災害復旧事業」

◎沼田開発公社の事業計画及び決算に関する報告

「自動車学校」の平成30年度の決算と令和元年度事業計画が報告されました。少子化による入校生の減少があり厳しい事業内容でした。

◎平成30年度一般会計補正予算に係る専決処分を承認しました。

年度末事業費確定に伴い補正予算を承認しました。

◎条例の新設と改正

「沼田町農業振興条例」、「沼田町商工業振興条例」の新設、「沼田町課設置条例の一部を改正する条例」と町民の定住環境の向上と、町外からの移住を応援する「沼田町住んで快適住まいる応援条例」等の改正を承認しました。

沼田町課設置条例の改正により農業推進課と産業創出課を設置し政策推進室は名称を廃止し、産業創出課に業務を引き継ぐこととしました。

◎一般会計補正予算

政策的予算の概要

移住定住の推進

・沼田町住んで快適住まいる応援奨励事業

既存の奨励事業を拡充して40歳以上・新婚・子育て世帯・中古住宅購入に合わせて行うリフォームにも支援拡充しました。

2100万円

・UIJターン新規就業支援事業

国の制度活用もかねて特定企業等に就職した場合の移住にかかわる費用を助成します。

100万円

交流人口の拡大

・歩いて健康・食べて発見・巡ってにぎわい創出事業

健康と食をテーマに地域内外の交流人口増加を図ります。

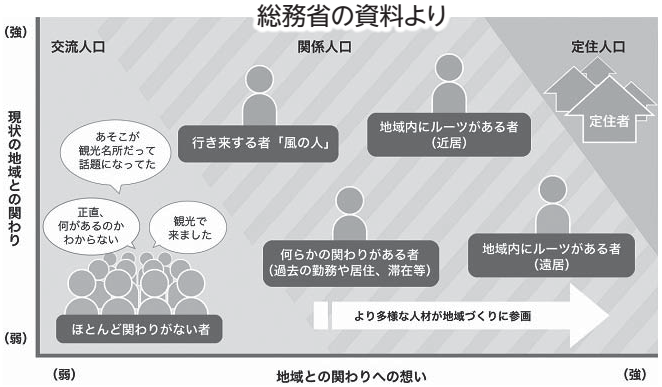
198万円

・沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業

1155万円

・JR留萌本線利用促進事業

300万円



産業の振興と創出

・農地流動円滑化支援事業

114万円

・有害鳥獣対策事業

電牧柵の敷設延長を行います。

1846万円

・中小企業特別融資事業

融資枠と限度額の拡充を行い町内業者の設備運転資金に対応します。

3300万円

・しごと・未来応援プロジェクト

町内企業事業所の労働力確保に向けた「キャリア教育」や働きたい人と働き手が必要な事業所のマッチングを図ります。

753万円

・魅力アップ沼田活性化支援事業

店舗の新築、空き店舗の活用、起業商品開発に助成

します。　500万円

教育子育て環境

- **高校生医療費助成事業　150万円**
- **がんばる高校生応援手当　732万円**
- **子育て世帯冬季暖房経費助成事業　170万円**

町民福祉

- **高齢者世帯等除雪費助成事業　406万円**

防災対策

- **福祉施設に非常用発電機の整備（和風園旭寿園）**
  福祉避難所である両園に非常用発電機を置き不測の事態に備え地域防災力を向上させる　1億3817万円
- **非常災害用トイレトレーラー導入　1738万円**

その他

- **スクールバス購入契約　2123万円**
- **ロータリ除雪車購入契約　6806万円**

これで除雪は安心

◎教育委員の推薦

教育委員に松尾敦史氏の推薦に同意しました。

◎議会改革特別委員会の設置

沼田町議会委員会条例の一部改正（課設置条例改正に伴う）

産業福祉常任委員会
総務民教建設常任委員会

◎決議事項

丸山穂高衆議院議員の言動に対する抗議と北方領土問題の平和的解決を求める決議

国民の安心な日常生活を守る為の良質な医療の確保提供に向けた「医師の働き方改革」を大きく進展させる決議

請願・陳情

「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」
賛成9

「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」
賛成9

「特別支援学校の設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制基準の改善を求める意見書」
賛成6反対3
反対意見
財源と教職員数が不足している設置基準の変更は時期尚早ではないか。
賛成意見
財源については判断できない。
教職員は不足している。

「これからの高校づくりに関する指針を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことを求める意見書」
賛成9

「給食費無償化を求める意見書」
賛成6反対3
反対意見
生活困窮者に対する免除措置は既にある。

「日米貿易協定交渉から日本の農業農村を守る意見書」
賛成7反対2
反対意見
政府は過去の日米TPP交渉水準でやると発言している。
前回の意見書とも合致しない可能性があるので修正して出すべきだ。
賛成意見
以前のTPP交渉で米国は不満があり圧力をかけている、食料主権の観点からも危惧される。

「国の責任による35人以下学級の前進を求める意見書」は不採択となりました。
賛成4反対5
反対意見
小1は35名になっている
学校ごとの個別の学級編成は可能、国の基準を下回る学級編成は増えているのではないか。
賛成意見
大規模校は40名と35名の差は意味があるので前進させたい。
教員の数を維持できる。

第5回臨時会 5月17日

- 特別職（町長、副町長、教育長）の給与に関する条例改正
  町長が83万円が78万9千円に、副町長が69万円が64万2千円に、教育長が59万円が57万5千円に改正されました。

◎副町長の選任

- 副町長に菅原秀史氏が選任されました。

町長への一般質問

問 産業の振興・創出・推進をどう図る
答 活力ある環境づくりを進めたい

鵜野 範之
議員

問 今回の選挙により町長が変わり、沼田の新しい舵取りが始まります。無投票当選であったため争点が見えづらく、町民に理解されていない部分もあると思います。わかりやすい政策説明をお願いします。町長の執行方針5項目が上げられていますが、沼田農業の持続可能な環境づくりについて聞きたい。また、商業環境の魅力創出と産業振興について聞きたい。

子ども達の代に活気ある町に引き継ぐ思いです。産業の振興ですが沼田町農業振興条例は頑張る農業者を応援する条例として町が支援します。

所得向上対策として雪中米をはじめとする農産物ブランド化向上チームによる検討、加工用トマトの栽培拡大に向けた作付け奨励金を広げ所得向上に結び付けます。

スマート農業については全農業者が利用可能な環境を2020年以降整備に向けた取り組みを進めます。担い手の確保育成に向けた沼田アグリファーム設立に着手したい。沼田町商工業振興については頑張る商工業を応援する条例で、町内の商工業者の経営の安定、商店街活性化に対応します。具体的には、魅力アップ沼田活性化支援事業による店舗の新築、空き店舗活用、起業家への支援対策に着手したい。また、商品開発を促進し、交流人口の拡大とセットで売れる商品作りにも着手したい。さらに、商工業サポート事業を実施します。交流人口拡大に向けて、子どもパスポート事業、まるごと自然体験プロジェクト事業に着手します。ご当地グルメも含め活力ある環境づくりを進めて行きたい。

ドローンによる防除作業

問 町長の具体案と町民合意方法は
答 ワーキングチームと聞く耳持つ町づくりを

久保 元宏
議員

問 町長の重点政策は、「交流人口の拡大」、「産業の振興」、「雪利用の促進と産業創出」、「教育、子育て環境の充実」、「町民福祉の向上」です。これ以外にJR留萌線維持も訴えられていました。町長は具体案としてNHK連続ドラマ「すずらん」の20周年記念イベントや、クラウス15号のイベントをお考えですが、単年度では弱いと思うがどう考えるか。

戦略的な攻めの政治を行うためには、組織の構造的な不安を感じるので、政策推進室をなくした理由、そのことに対してどのような対応をするか、どのようにお持ちのアイデアに結び付けていくのか聞きたい。

JRの輸送密度を上げる。すずらんやクラウスに続く、第2弾、第3弾を考えます。

政策的には、産業創出課により企画立案から実行部隊まで一連の課として動くことを理想として提案しました。

庁内では「しごと・未来応援プロジェクト」「コンパクトエコタウン構想」「公共施設検討事業」「交流、関係、対流人口検討事業」の各プロジェクトのワーキングチームを立ち上げます。

合意形成等については、人の意見を聞く耳を持ち町づくりの指針を取りまとめていきたい姿勢でいることをご理解頂きたい。

日本遺産クラウス15号

問 スマート農業整備の計画を聞く
答 来年度事業着手できるよう進めたい

畑地　誉
議員

問 スマート農業については広範囲な分野があり、その入り口である全球測位衛星システム（GNSS）利用について沼田町は遅れており、インフラ整備が大きな課題となっています。

農家個々で過大な設備投資が必要な一方、あまり所得向上には結びつかないという評価もありますが、労働力の確保や、多様な担い手づくりには重要です。

今後におけるスケジュールを聞きたい。

また取り組みに当たっての受け皿団体についてと、新しい農業担当部署への町長の思いを聞きたい。

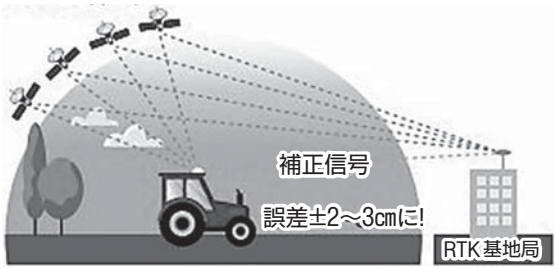
スマート農業のシステムに関しては、今年度その利用ができる環境に結びつけるための調査を行い、来年度には事業に着手できるようなスケジュールで進めていきたいと考えています。その際、沼田町内の全農地でこのインフラが利用できる環境を視野に入れて取り組むことが一番の課題であると思っています。

施設整備の手法については、通信インフラの新たな手法も含めて検討させて頂いています。施設整備には大きな予算が必要となりますので、優良な補助制度を調査し、使っていきたいと考えます。

受け皿となる組織については、関係する団体を含めて、仮称ですがスマート農業研究会的な組織を立ち上げて頂くのがいいと思っています。

担当部署の名称ですが、新しくなる農業推進課の中に新農業推進室というものを立ち上げていこうと考えています。

RTK-GNSS方式



インターネットを使ったNtrip式は、RTK基地局（アンテナ）から半径20km程度の範囲で利用されています。また、インターネットを使わない無線式は基地局から5km程度で利用されています。

問 町道の安全対策が必要ではないか
答 町民の安全のためにも対策を講じたい

上野　敏夫
議員

問 沼田町の町道の危険箇所に大徳寺前のカーブがあります。こども園に通っている保護者の方からも、ガードケーブルのない沼田町はとても心配だという声を聞いています。

この場所は大型車も多く通行する場所で、特に冬は歩道の雪が車道に出て、急に狭くなるため車輌が雪に乗り上げて一時通行止めになるような危険箇所です。

対策の一つとして、すでに用地買収されている国道275号線のバイパス道路の早急な利用の予算をもって安全対策をするべきと思います。

町道の安全については何らかの対策をしなければならないと思います。例えばゆめっくる前の駐車場にパトカーを駐車して監視するなどです。また、関係団体に、こども園を含む通学路の点検について依頼をしていきたいと思います。

ガードレール等の永久工作物は冬場の除雪の支障もあり、慎重な協議が必要です。

バイパス道路の整備については関係する方々との調整をしていかなければならないと思っています。

大徳寺前のカーブ

上野議員のそのほかの質問

問 子どもたちのスポーツ環境を整えるべき

答（町　長）スポーツ少年団に活動交付金を支援しています

（教育長）小学校に体育専科が一人配置になりました

問 農業による産業創出で雇用拡大を
答 関係機関と連携し産業創出を目指したい

伊藤　淳
議員

問 沼田町の人口減少に歯止めをかけるには、雇用対策が最も重要であり、町ぐるみで雇用を生み出すシステムを構築していくことが必要だと考えます。

産業創出課として新機構として取り組まれるが、地域に根差した農業で新産業を興し、国の政策に左右されない仕組みが大事です。また、安定した雇用と安心できる職場を提供する事で生活の基盤として定住してもらえると思います。

農業を核とした雇用の確保に繋げて頂きたいが、今後どのような方向性で検討され実施されるのか聞きたい。

豊かな田園風景

答 沼田町の産品は更にブランド力を高めることが必要であり、各関係機関と共に「ブランド化向上戦略チーム」を立ち上げたいと考えています。また、私の町づくりの考え方として、日本一という称号をもらえる環境を目指していきたい。

雪を活用し、産業創出に結び付けたいですし、企業誘致も必要だと思っています。

農業者の皆様が具体的に6次産業化に着手できるようサポート体制を整えることやグローバル化や農福連携を視野に入れた農業スタイルも考えていきたい。

問 独自の少子化対策を策定してはどうか
答 現状の政策と組み合わせ対応していきたい

長野　時敏
議員

問 沼田町存続の根幹に関わる少子化対策について聞きます。

全国的な人口減が進んでいますが、先進国に目を向けると人口減の傾向はあるものの、出生率回復の成功事例もあります。沼田町として諸外国の成功事例から学び「沼田町ならではの少子化対策」を策定し、全道、全国のモデルとなる対策を展開してはどうか。少子化のダメージは、地方から来ます。東京の出生率は1・2人です。北海道は東京の次です。沼田町は1・8人ですが北海道の状況は大変な事態だと考えています。この現実に待ったなしの危機感を持ち、出来るところから大胆に、補助制度なども用いながら出生率回復を広げていくべきと思うが、考えを聞きたい。

答 少子化、子育て対策に対する事業は、本町はトップクラスだと考えています。

現在、不妊治療費の助成など多くの事業を展開しています。これらを広報などで周知、推進していくとともに出生率の上昇を目指す必要があると思います。

また、支援策として「ライフパートナー探し応援事業」などの配偶者対策にもとりくんでいます。補助制度については財源も必要であるので、内部で検討します。

えがおで遊ぶ子ども達

長野議員のそのほかの質問

問 介護職員不足を広域で連携、協働してはどうか

答 （町　長）制度運用の動向を注視し情報収集していく

問 沼田学園推進室の設置の趣旨は

答 （教育長）小中一貫連携教育の充実を目指す

問 消費税率引き上げに反対しないのか
答 公平な負担が望ましい

篠原　暁
議員

問 消費税率8％への増税以後、国民の家計消費は大きく落ち込んでいます。消費税は、低所得者ほど負担率が重くなる逆進性があり、町が行う福祉政策にも反するものなので、町長は増税に反対の意思を示すべきではないかと思います。

保育料の無償化について、町はすでに国に先行して取り組んでいますが、以前から減免されていた世帯には消費増税分だけが負担増となります。教育費無償化も併せて消費税とは別な財源を充てるよう求めるべきと思います。

プレミアム付商品券は消費増税分の負担緩和策というよりは、地域経済振興策として実施してはどうか。

沼田町は保育料無料です

答 国の政策に対していい悪いということを述べる立場にないということはご理解いただきたいと思います。考え方として今後高齢化がさらに進む中で、社会保険料などの現役世代の負担が増加していく状況を考えると、国民全体で公平に負担するのが望ましいと考えています。

保育料や教育費の無償化にも多額の予算が必要であり、国の動向を見つつ管内他市町とも調整しながら対応します。

プレミアム付商品券については、今回の補正予算での事業を実施します。

篠原議員のそのほかの質問

問 年金生活者に暖房費や除雪費の支援はできないか

答 灯油価格の動向を見て必要な場合は実施したい

問 子どもの命をどう守るか聞く
答 幼児虐待をなくす対応を考えたい

大沼　恒雄
議員

問 子どもの虐待が年々増加している中、国は新しい社会的養育ビジョンを提示しました。改正児童虐待防止法が提出され、親による子どもへの体罰禁止を明記した法案が可決されました。

市町村においても29年から改革に着手し、計画的に子ども家庭支援体制の充実を図るとされています。このことについては町長の執行方針にもありました子育て世代包括支援センターの設置ということで理解はしています。

子どもの虐待については、痛ましい事件が続く中、沼田の子どもだけでなく日本全体の子どもたちの命を救うことに視点を置いてネグレクト対策を打ち出すとか、町長が掲げる新たな施策につなげることができないのかということで、所信を聞きたいと思います。

答 本町では7月に設置をしました子育て包括支援センターを核として、保健師等が早い段階で子育て世帯を訪問し、家庭環境を把握できるよう努めていきます。

また、ネグレクト対策についても、療育ヘルパーが家庭に入って家事の支援などもするという取り組みを開始しているところです。

我が町だけでなく、全国に視野を向けての対応も、是非とも考えるべきだと思います。手法などについてはじっくりご意見を伺いながら考えていきたいと思います。

小さな命を守りたい

問 人材育成と関係人口について問う

答 新たな事業や組織を活用し協議していきたい

高田 勲
議員

問 沼田町6次総合計画と地方創生の2次計画については整合性が求められると思います。

1点目は人材育成として、現在の「しごと未来応援プロジェクト」の取り組みは3年目を迎えますが、とてもよい事業であると考えます。どのようにそれぞれの計画に反映し、発展していくのか具体策があれば聞きたい。

2点目は、関係人口についてです。東京圏で暮らしながら地方企業の経営改善などに貢献する「関係人口」は「交流人口」とは一段高いレベルでの関与が求められます。

どのように地方創生に盛り込むのか聞きたい。

中学生の保育士体験

「しごと未来応援プロジェクト」は引き続き内容を充実させ対応していく予定です。現在実施している事業も含め、新たに「無料職業紹介所」も開設し、キャリア教育の更なる充実に向け、学校との連携を強化していきます。

関係人口については、外部人材と地元企業、町民との交流を模索していきたい。関連ですが、企業版ふるさと納税を有効的に活用し、地方への本社機能移転や設備投資の減税を活用しながら、雇用創出の環境づくりとして、対応していきたい。

「議会傍聴」の受付方法が変更になりました

以前は議会入口にて「傍聴人名簿」に記入して頂き、議会の傍聴をしておりましたが、個人情報保護の観点から、個人別に「傍聴人受付票」に記入して受付箱に投函の上、傍聴して頂くよう変更となりましたので、よろしくお願いいたします。

受付票はこの箱へ

今回の定例議会の傍聴者は、21名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

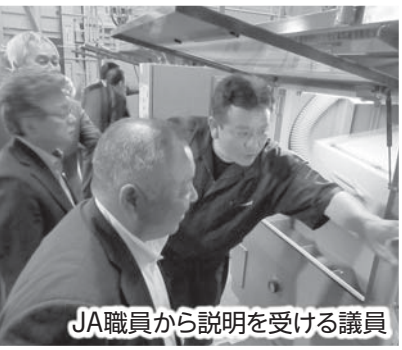
議員セミナーを開催 6月5日

令和と共に始まった新体制のもと、議員セミナーが開催されました。このセミナーは、総務民教建設・産業福祉の両常任委員会の共催で開催されています。議員の見識を高めることを目的とし、一年間に数回実施されます。今回は、町内の行政視察を行いました。

●スノークールライスファクトリー

各農家から一次乾燥されたお米（半乾籾）を荷受けし、その後最新設備により、乾燥仕上げを行い、籾摺り出荷します。雪中米は、貯蔵された籾を雪冷熱により貯蔵庫内を温度5度、湿度70％で保ちながら最適の状態で保管し、今摺米として出荷します。

当日の説明から、基幹産業を支える生産者の皆さんの先見性とプロ意識がひしひしと伝わってきました。


JA職員から説明を受ける議員

●北のほたるファクトリー

各農家から収穫されたトマトを選果、洗浄を経て、粉砕、加熱処理をし、ろ過後、充填します。最終検査ではX線などを用い、製品の品質と安全を確認後、出荷します。

議員も工場の皆さんと同様の作業着に身を包み、説明を受けました。徹底した品質管理のもと商品を製造することへのこだわりを感じました。

無菌状態の徹底に納得

議員研修

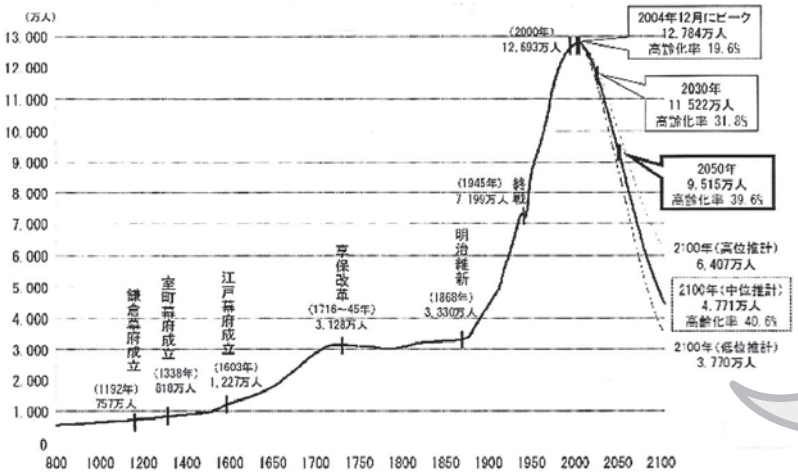
●北海道町村議会議長会議員研修会

6月25日札幌市で開催。「どうなる？今後の日本政治」有馬晴海氏（政治評論家）

「地方は変われるか～議会はどう変われるか、自治体をどう変えるか～」佐々木信夫氏（中央大学名誉教授）

我が国における総人口の長期的推移

総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は千年単位でみても類を見ない極めて急激な減少。



「国土の長期展望中間とりまとめ概要」H23国土審議会政策部会

○大きな転換点に立つ日本～人口危機、財政危機。○自治体経営も大きな曲がり角に立つ。○自治体経営の新たな方向～地方議会はチェック機関から立法機関へ。

二人の講師に共通したことは、「少子高齢化、資源のない日本の方向性についての問題提起」でした。

①生活など目の前の課題、②産業の活性化や年金問題、少子化対策など未来への展望、③議会が果たす役割の重要性を改めて感じました。

●町村議会新任議員研修会

7月9日札幌市で開催。長野、篠原、畑地、伊藤の新任議員が参加し、議員基本使命、会議原則、会議の進め方等を研修しました。

なるほど！聞き入る4人の新任議員

●空知町村議会議長会議員研修会

7月12日奈井江町で開催。講演「地方自治体の防災・減災政策」高松泰氏（北海道大学特任教授）非常時を想定した内容でした。

災害は忘れたころにやってくる

第32回 和風園夏祭り 7月20日

和風園の中庭が、さながらビールパーティー会場のようになり、利用者の皆さんが家族との楽しいひとときを過ごされました。夜高太鼓や吹ガールズ演奏のほか、七福神のお菓子まきもありました。参加した議員も楽しい時間を過ごしました。

横山町長が七福神で登場

退任議員と親睦パークゴルフ 7月19日

恒例行事となった親睦パークゴルフ大会が開催されました。退任議員の中の3人の米寿をお祝いすると共に熱戦が繰り広げられました。競技結果は次のとおりです。

- 優勝　山木　一男
- 準優勝　鵜野　範之
- 3位　野　道夫
- ホールインワン　杉本　邦雄

退任議員のナイスショット

みんなの広場

楽しみながら

JA北いぶき女性部 沼田支部支部長　岡田（おかだ）　久恵（ひさえ）

今年度より支部長となりました。何をどうしたらよいのか戸惑う事ばかりですが、役員５人で協力し合いながら２年間頑張っていきます。

令和の年号になり６月27日に３町研修交流会がありました。ミニ運動会の後は焼肉。３町一緒になった頃は何と無く同じ町の人と話をしていたように思いますが、今回はそのチーム・その班の中で話し合いやゲームが進んでいきました。

回を重ねていくという事は何度か繰り返し行っていく事で顔が分かり、共通の話題には作物や野菜栽培、それから調理方法と広がりが出来てくるんですね。

とても楽しい時間となりました。

夏本番となり夜高あんどんの時期となります。紙貼りのお手伝いや踊りと忙しい日々の中に有りますが、五穀豊穣の秋を願いながら皆さんと活動していきたいと思っています。これからも皆様のご協力とご指導をよろしくお願いいたします。

皆さんと活動していきます

あとがき

議会広報「みんなの議会」78号が出来上がりました。今回は、議会議員選挙で新たに選出された5名が、広報特別委員となり、戸惑いながらも先輩議員のアドバイスを受け発行にこぎ着けることができました。

議会広報発行の目的は、議会の議事や活動状況を町民の皆さんに理解、把握して頂き、町政参加に役立てて頂くことです。

「空知に沼田議会広報あり！」これまでの偉大な足跡を継承し、読んでもらえる、喜んでもらえる、考えてもらえる広報活動を進めて参ります。

雨の少ない夏を迎えています。皆さんお元気で豊穣の秋を迎えられることをお祈りいたします。

広報特別委員
長野時敏　篠原　暁
上野敏夫　畑地　誉
伊藤　淳

『議会広報』
2019年8月8日発行　発行者　沼田町議会　〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町　TEL0164-35-2117